

防災に関するアンケート

公明党 渥美支部

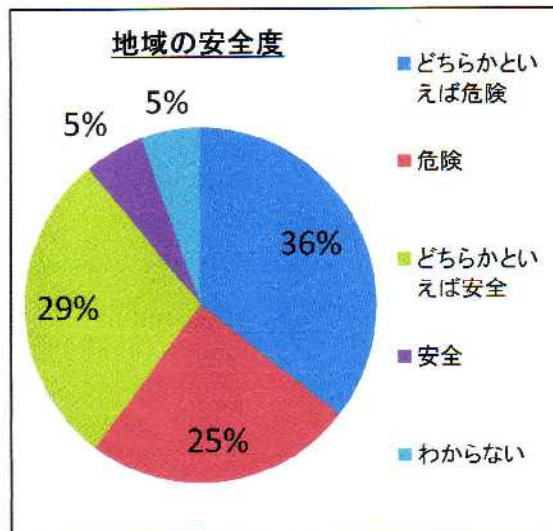
平成23年5月

防災 アンケート

問1、【地域の安全度】

あなたのお住まいの地域は、災害に対し安全だと感じていますか、それとも危険だと感じていますか。次の中から1つ選んでください。

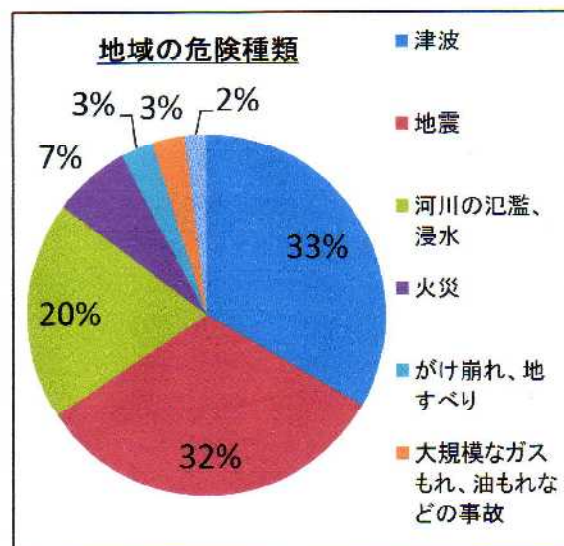
	回答数	%
どちらかといえば危険	26	36%
危険	18	25%
どちらかといえば安全	21	29%
安全	4	5%
わからない	4	5%
合計	73	100%



問2、【地域の危険種類】

問1で「危険」、「どちらかといえば危険」と答えた方へ。どのような危険を感じていますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

	回答数	%
津波	34	33%
地震	33	32%
河川の氾濫、浸水	20	20%
火災	7	7%
がけ崩れ、地すべり	3	3%
大規模なガスもれ、油もれなどの事故	3	3%
その他	2	2%
合計	102	100%

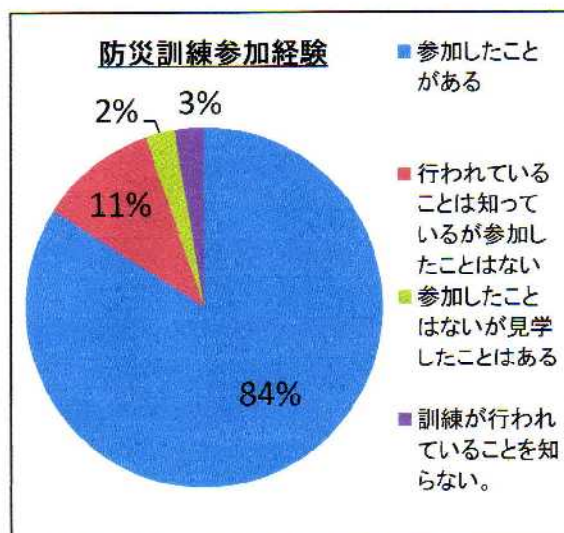


【その他】
・台風 ・停電

問3.【防災訓練参加経験】

今までに防災訓練に参加したり、見学したことがありますか。次の中から1つ選んでください。

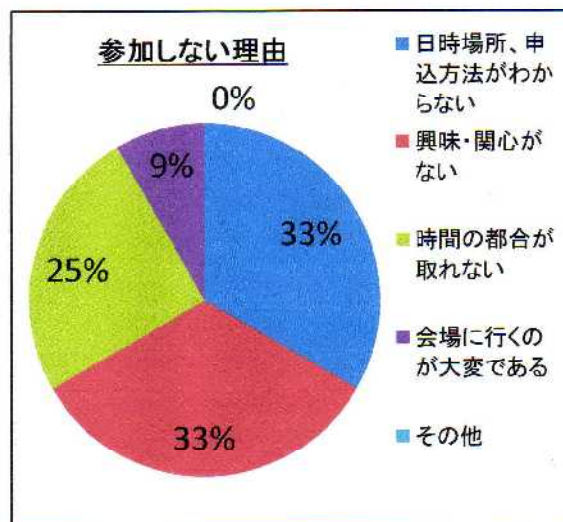
	回答数	%
参加したことがある	63	84%
行われていることは知っているが参加したことはない	8	11%
参加したことはないが見学したことはある	2	3%
訓練が行われていることを知らない。	2	3%
合計	75	100%



問4.【防災訓練に参加しない理由】

問3で「行われていることは知っているが参加したことはない」、「訓練が行われていることを知らない」と答えた方へ。防災訓練に参加しない理由は何ですか。

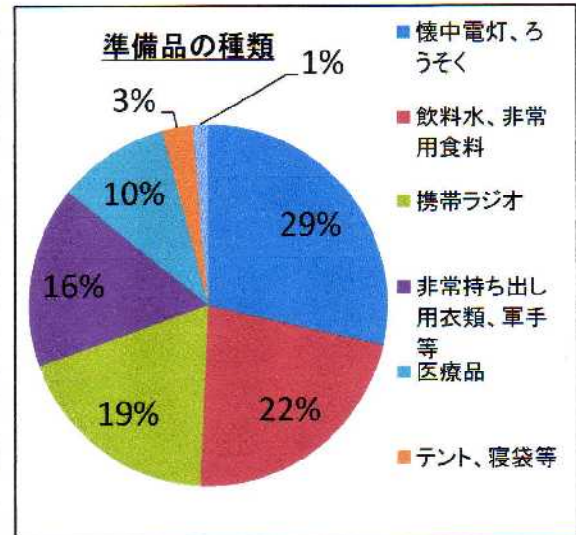
	回答数	%
日時場所、申込方法がわからない	4	33%
興味・関心がない	4	33%
時間の都合が取れない	3	25%
会場に行くのが大変である	1	8%
その他	0	0%
合計	12	100%



問5.【災害用備蓄準備品の種類】

あなたの家では、災害に備えて水・食料・生活必需品の備蓄などの準備をしていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

	回答数	%
懐中電灯、ろうそく	62	29%
飲料水、非常用食料	48	22%
携帯ラジオ	41	19%
非常持ち出し用衣類、軍手等	35	16%
医療品	22	10%
テント、寝袋等	6	3%
その他	3	1%
合計	217	100%



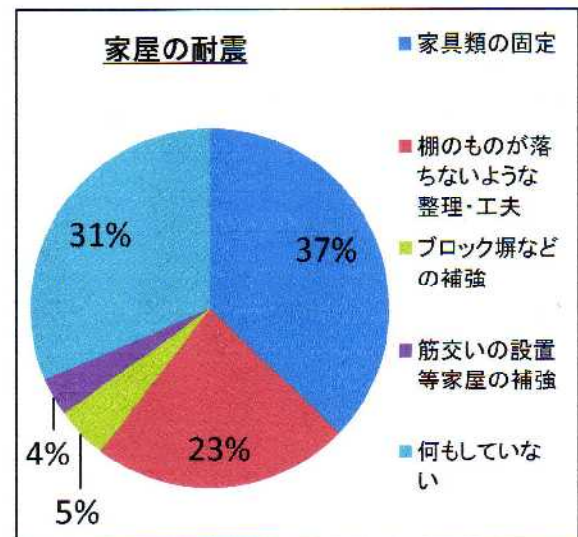
【その他】

・雨具、防寒具、・笛 ・発電機 ・非常用トイレ ・シェルター（予定） ・なし

問6.【家屋の耐震等に行っていること】

家屋の耐震性や安全性の確保、家具等の転倒・落下防止対策等に行っていることはありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

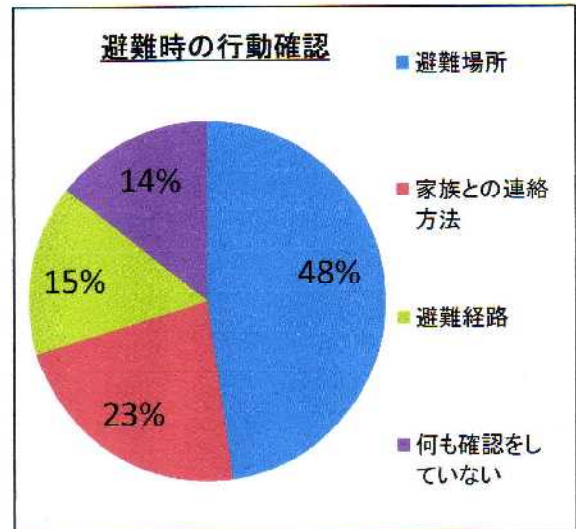
	回答数	%
家具類の固定	32	37%
棚のものが落ちないように整理・工夫	20	23%
ブロック塀などの補強	4	5%
筋交いの設置等家屋の補強	3	3%
何もしていない	27	31%
合計	86	100%



問7、[避難時の行動に関して確認を行っているもの]

避難時の行動に関して、確認を行っているものはありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

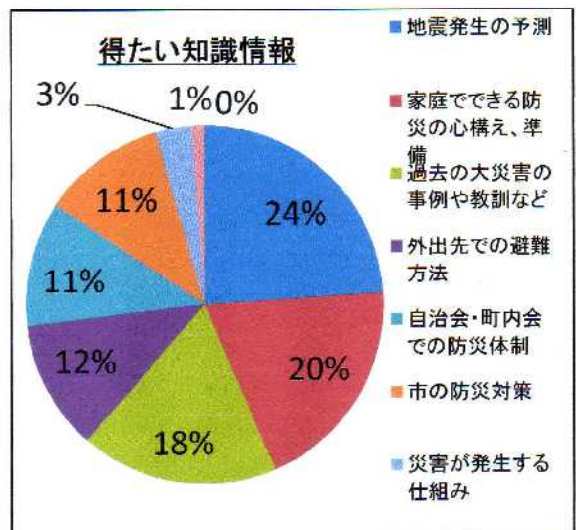
	回答数	%
避難場所	53	48%
家族との連絡方法	25	23%
避難経路	17	15%
何も確認をしていない	16	14%
合計	111	100%



問8、[防災関連の得たい知識や情報]

防災全般に関して日頃からどのような知識や情報を得たいと思いますか。次の中から3つ選んでください。

	回答数	%
地震発生の予測	43	24%
家庭でできる防災の心構え、準備	35	20%
過去の大災害の事例や教訓など	32	18%
外出先での避難方法	21	12%
自治会・町内会での防災体制	20	11%
市の防災対策	20	11%
災害が発生する仕組み	6	3%
防災ボランティアの参加方法	2	1%
その他	0	0%
合計	179	100%



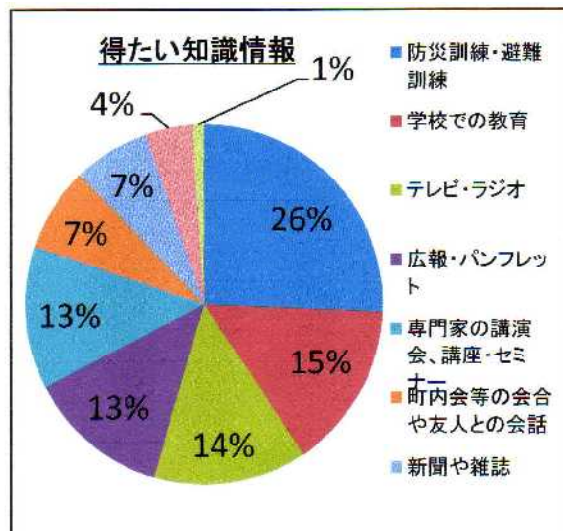
【その他】

・危険個所の確認、津波の高さにて避難場所の確認

問9.【防災に関する知識や情報の提供】

防災全般に関する知識や情報は、何によって提供されたら良いと思いますか。次の中から3つ選んでください。

	回答数	%
防災訓練・避難訓練	48	26%
学校での教育	28	15%
テレビ・ラジオ	26	14%
広報・パンフレット	24	13%
専門家の講演会、講座・セミナー	24	13%
町内会等の会合や友人との会話	14	7%
新聞や雑誌	13	7%
市のホームページ	8	4%
その他	2	1%
合計	187	100%

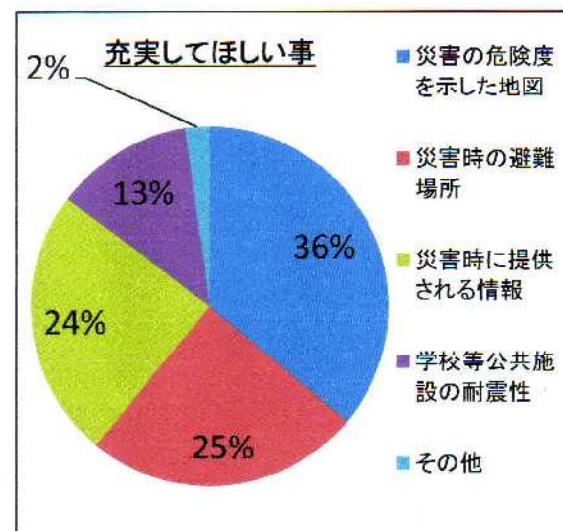


【その他】
・ティーズ特集

問10.【充実してほしい事】

災害の危険性に関する情報や役立つ情報について充実してほしい事は何ですか。次の中から2つ選んでください。

	回答数	%
災害の危険度を示した地図	49	36%
災害時の避難場所	34	25%
災害時に提供される情報	33	24%
学校等公共施設の耐震性	17	13%
その他	3	2%
合計	136	100%



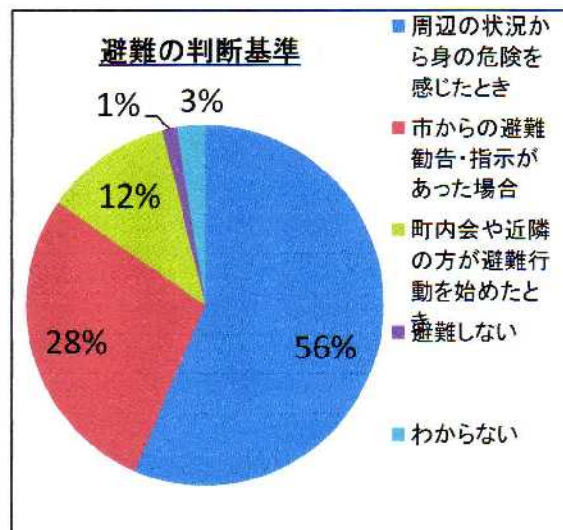
【その他】

- ・ 町内の放送が聞きづらいので、ゆっくり分かりやすくアナウンスしてください。
- ・ 災害時の広報、スピーカーの増設（何も聞こえないから）
- ・ 地域のどこの誰がどんな能力を持っているか普段から見えるように。
- ・ なし

問11.【避難の判断基準】

災害が起きたとき、どのような場合に避難の判断を行いますか。
次の中から1つ選んでください。

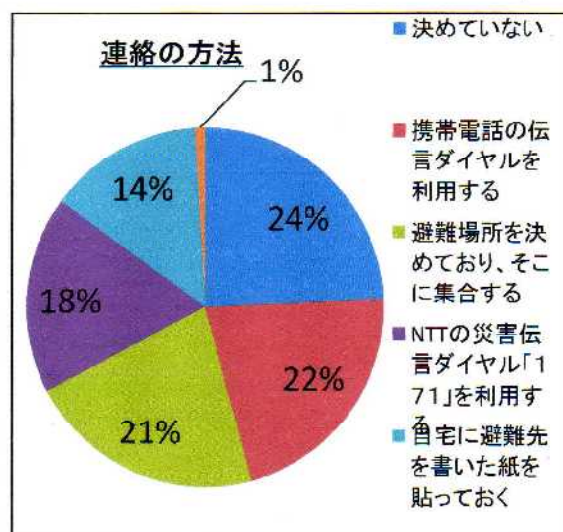
	回答数	%
周辺の状況から身の危険を感じたとき	44	56%
市からの避難勧告・指示があった場合	22	28%
町内会や近隣の方が避難行動を始めたとき	9	12%
避難しない	1	1%
わからない	2	3%
合計	78	100%



問12.【連絡方法】

家族と連絡がとれなくなったときの連絡方法について決めていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

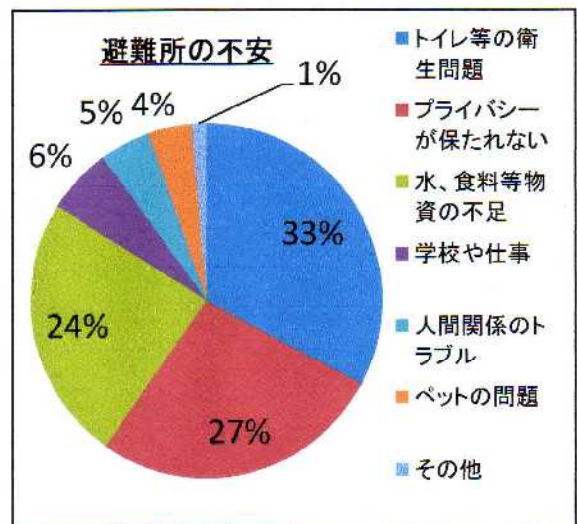
	回答数	%
決めていない	26	24%
携帯電話の伝言ダイヤルを利用する	23	21%
避難場所を決めており、そこに集合する	23	21%
NTTの災害伝言ダイヤル「171」を利用する	19	18%
自宅に避難先を書いた紙を貼っておく	15	14%
その他	1	1%
合計	107	100%



問13.【避難所生活長期化の不安な事】

避難所生活が長期化するとした場合、特に不安に思うことは何ですか。
次の中から2つ選んでください。

	回答数	%
トイレ等の衛生問題	49	33%
プライバシーが保たれない	40	27%
水、食料等物資の不足	36	24%
学校や仕事	9	6%
人間関係のトラブル	7	5%
ペットの問題	6	4%
その他	2	1%
合計	149	100%



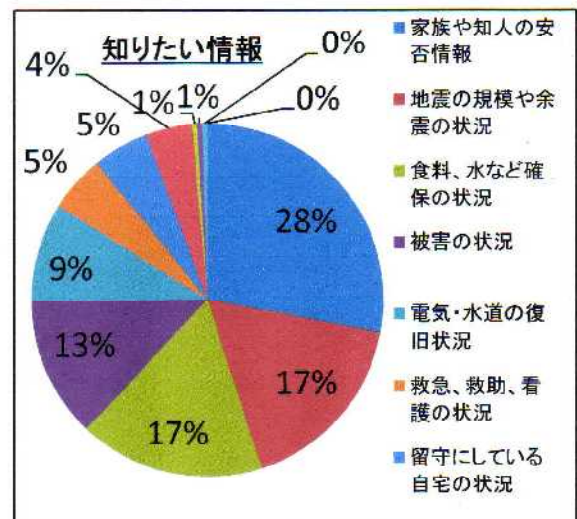
【その他】

- ・常用している薬や眠れない時などの健康状態。
- ・睡眠

問14.【災害発生時知りたい情報】

災害発生時、特に知りたい情報は何か。次の中から各3つ選んで下さい。

	回答数	%
家族や知人の安否情報	59	28%
地震の規模や余震の状況	36	17%
食料、水など確保の状況	36	17%
被害の状況	27	13%
電気・水道の復旧状況	19	9%
救急、救助、看護の状況	11	5%
留守にしている自宅の状況	11	5%
避難場所の状況	9	4%
道路、鉄道等の状況	1	0%
市の対応状況	1	0%
警察、消防等の応急的な救援活動状況	1	0%
その他	0	0%
合計	211	100%



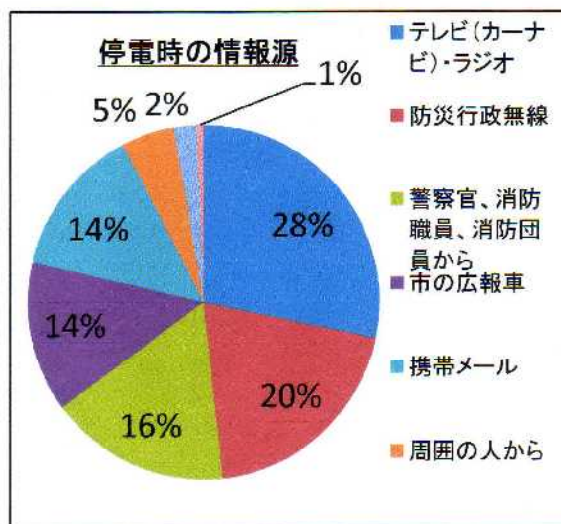
【その他】

- ・どこに何が（誰が）不足しているのか。

問15、【災害停電時の情報源】

災害発生時に停電した場合、情報を何によって知りたいと思いますか。
次の中から2つ選んで下さい。

	回答数	%
テレビ（カーナビ）・ラジオ	41	28%
防災行政無線	29	20%
警察官、消防職員、消防団員から	24	17%
市の広報車	20	14%
携帯メール	20	14%
周囲の人から	7	5%
広報紙・チラシ	3	2%
その他	1	1%
合計	145	100%

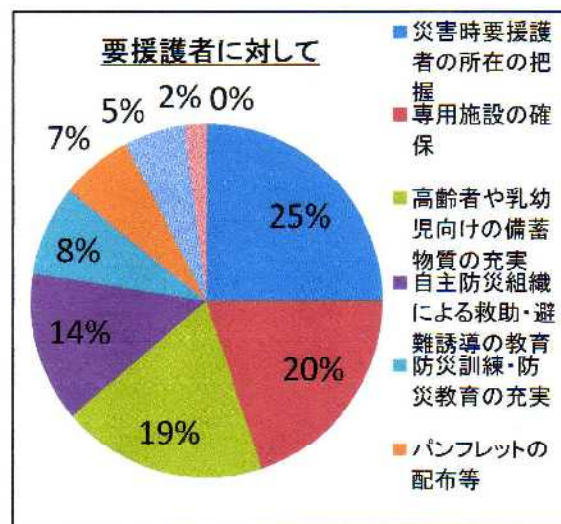


【その他】
・携帯ワンセグ放送

問16、【災害時要援護者に対して】

災害時要援護者（高齢者、障がい者、外国人、妊婦、乳幼児など）への配慮について、市が備えておくべきことは何だと思われますか。次の中から3つまで選んでください。

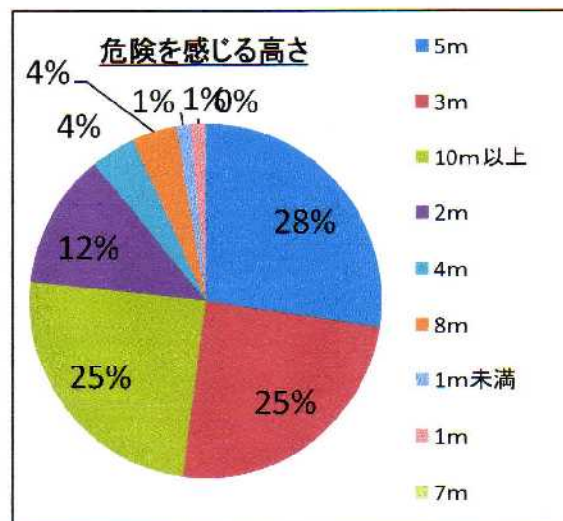
	回答数	%
災害時要援護者の所在の把握	49	25%
専用施設の確保	39	20%
高齢者や乳幼児向けの備蓄物質の充実	37	19%
自主防災組織による救助・避難誘導の教育	27	14%
防災訓練・防災教育の充実	16	8%
パンフレットの配布等	13	7%
外国人相談窓口の設置	11	6%
国際交流ボランティアの活用	4	2%
その他	0	0%
合計	196	100%



問17、【危険を感じる津波の高さ】

津波警報・注意報などで、あなたが危険を感じる津波高の数値を丸で囲んで下さい。

	回答数	%
5m	20	27%
3m	18	25%
10m以上	18	25%
2m	9	12%
4m	3	4%
8m	3	4%
1m未満	1	1%
1m	1	1%
7m	0	0%
合計	73	100%

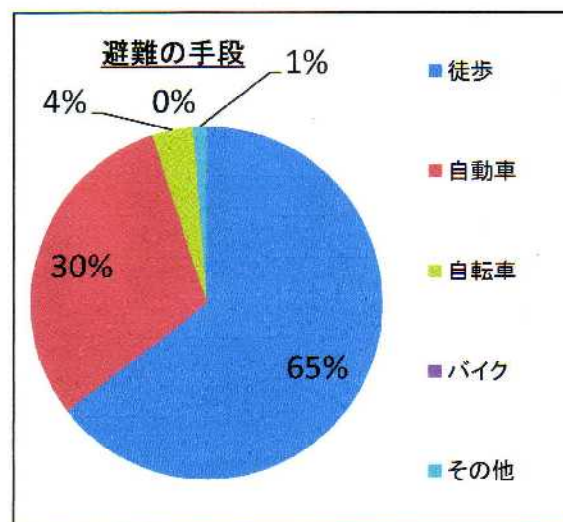


・港からの浸水

問18、【避難の手段】

避難指示・勧告が出た場合どうやって避難しますか。

	回答数	%
徒歩	51	65%
自動車	24	30%
自転車	3	4%
バイク	0	0%
その他	1	1%
合計	79	100%



問19.【自動車で避難する理由】

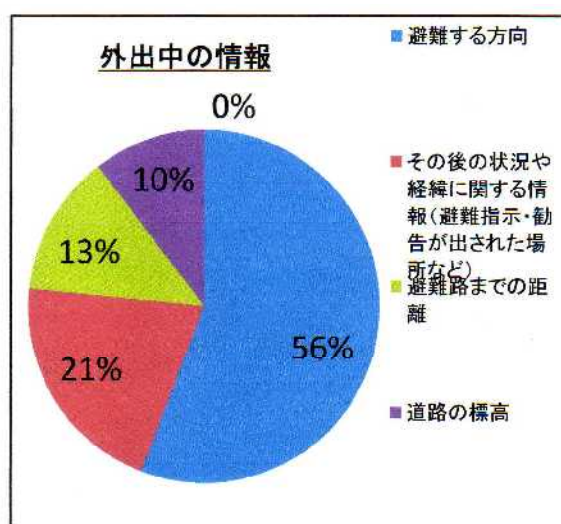
津波による避難指示・勧告が出た場合、自動車で避難しなくてはならない理由がありましたらご記入下さい。

- ・早いから
- ・高台の近くまで行き、あとは徒歩
- ・高齢者は自動車で避難所の有る処まで行かなくては間に合わない。
- ・高い所まで遠い
- ・避難所が遠い
- ・老人の移動のため、万が一の場合、車で過ごしたい。
- ・高台まで遠いから。
- ・仕事の外出時。
- ・プライバシーが保てる。避難場所にできるから。
- ・避難所が遠い。高齢者がいる。
- ・足の不自由な人の移動。
- ・移動に時間がかかる。
- ・避難場所が遠いため。近くに高いところがない。
- ・避難所が遠いので。
- ・早く行くため。
- ・子供が小さい。妊婦がいる。避難所までの坂が長い。
- ・ペットを飼っているため。
- ・ペットが居るため。
- ・海が近く高台が近くにないから。

問20.【外出中の情報】

外出中に津波警報・注意報が発令された場合に、最も必要だと感じる情報はどのようなものですか。次の中から1つ選んでください。

	回答数	%
避難する方向	43	56%
その後の状況や経緯に関する情報 (避難指示・勧告が出された場所など)	16	21%
避難路までの距離	10	13%
道路の標高	8	10%
その他	0	0%
合計	77	100%

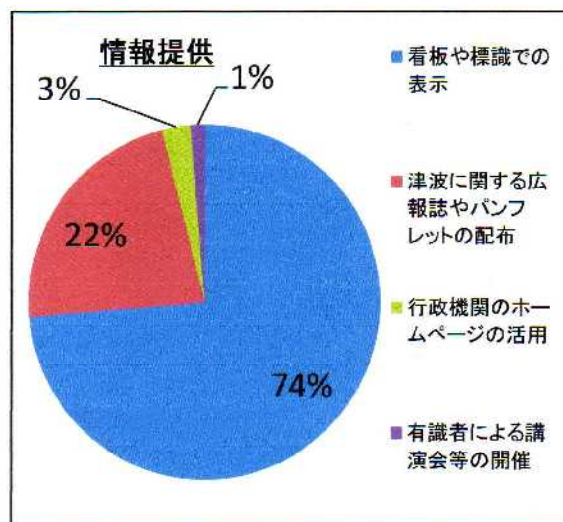


【その他】
・付近の高台の場所

問21.【道路利用者の情報提供】

津波の危険性など、道路利用者の方に普段からの情報提供として適切と思われるのは、どのようなものですか。次の中から1つ選んでください。

	回答数	%
看板や標識での表示	56	74%
津波に関する広報誌やパンフレットの配布	17	22%
行政機関のホームページの活用	2	3%
有識者による講演会等の開催	1	1%
合計	76	100%



問22.【安全な場所】

居住する沿岸部に位置する場所において津波から身を守るために適していると思う箇所がありましたら、参考までに位置や場所を具体的にお教え下さい。

- ・笠山
- ・自宅周辺（高台にあるため）
- ・わからない
- ・蔵王山
- ・漆田2区の場合、海拔3～4m程度のため、市場の方面（東方向）しかないと思う。2区公民館では、海拔が足りないと思う。但し、津波の高さにも・・・。
- ・市役所渥美支所辺り。
- ・漁港や半島の先端を除く表海側地域。
- ・小学校、中学校
- ・中山小学校の校舎の3階。
- ・福江市民館。
- ・市役所支所。
- ・光崎住宅南側の笠山。
- ・笠山広場。
- ・波瀬区や笠山

問23、【意見・要望】

防災に関する意見・要望等がありましたらご記入ください。

- ・市民が避難所に長期避難する場合、避難者の収容能力は確保できているか。
- ・ 田原市の「安心ほっとメール」に登録しているが地震発生から着信までに15分以上ある。もっと早く発信できないか。
- ・ 地震・津波で道路が損壊した場合、豊橋方面からの救援物資等はどうやって運ぶか。
- ・ 外出中に避難勧告が出た場合、どこに避難すればよいかわからないので避難場所の標識を設置してほしい。
- ・ 東日本大震災の被害状況をふまえ防災マップの見直しをやってほしい。
- ・ 避難場所が低い土地にあるので津波にも安心できる場所に変えてほしい。
- ・ 自宅が海面から何メートルの所にあるか知りたい。
- ・ 小中山漁港周辺の堤防はこの高さでいいのか。又、老朽化した低い堤防の周辺の住宅などの家庭ではとても心配。
- ・ 市町村合併になって範囲が広くなり、情報や災害の対応など、なかなか届かないんじゃないかと心配。
- ・ 海拔の低い地域には避難やぐら（三重か和歌山にある）。又、各家に地震などで家がつぶれても助かる為に、家の中に鉄骨などでシェルターを作り一室を安全な部屋（新聞か何かで見た）を作る。（市で基準を定め、補助金制度を作る）
- ・ 私たちの住んでいる所は、田園地帯で平地であり東北のような津波が来たら逃げるところがない。建物も2階建てまでが多いし、テレビで見ていると東北の方がコンクリートで出来た3階建て以上の建物があった。できれば山みたいな所だけでなく所々に、逃げ込める丈夫な高い建物があったらと思う。
- ・ 田原市の防災の内容ありがとうございました。防災訓練も積極的に参加し意識を高めて行きたいと思いますが、大きな災害時、市として何を市民にして頂けるのかよくわかりません。最終的には、自分の身は自分で守らなければならないと思いますが、市側にして頂ける事を承知した上で、自分で準備できる事を考えておきたいと思います。
- ・ 避難所での設備等、備えてある物がちゃんとあるのか確認してもらいたい。
- ・ HPやパンフレットなどで津波・液状化等のハザードマップを作成してほしい。
- ・ 災害内容別に災害発生時、どこの誰に誘導要請や相談すればいいのか、町中に見えるように表示してほしい。普段から知っている事で有事に備えられる。
- ・ 地域の中で危険（地震・津波の場合）な場所が分からないので、いざ、避難する時に恐ろしい。津波の場合も、どこまで避難すればいいのか全くわからない。一目で分かる表示板・表示マップがほしい。
- ・ 一刻も早く、高台で全ての人が避難できる場所を沢山作ってほしい。そして、その避難訓練を何度もやってほしい。
- ・ 中山小学校の校舎外の非常階段の場所を知りたい。
- ・ 道路などに、防災標識を掲げる。
- ・ 確実な報告をする。
- ・ 今回ばかりでなく継続した取り組みが必要。
- ・ 東北の地震と津波をテレビで見て、ほんとうに現実起きたとは思えませんでした。こわいと思いました。「田原に同じ事が起こったら」と思うと日頃の一人ひとりの意識が大切だと思います。
- ・ 災害に強い市にしてほしい。
- ・ 「津波の危険性が高い場所」にいた場合、どこへ避難したらいいのか、具体的な時間、場所等をわかる様にしてほしい。